

## 『前例を超える・前例を創る～医療・福祉の受け手の身になって』

いま、自身の癌と向き合う 在宅ホスピスケアのパイオニア  
 日本軍が加害者だった地での経験から「幸せなら手をたたこ」を作詩した生命倫理学のレジェンド  
 囑託殺人事件を掘り下げた京都新聞のジャーナリスト  
 精神病院の実態を明るみに出した経済誌ジャーナリストとNHKディレクター  
 医療的ケアがや認知症ケアの道を医療を超えて切り開いたdoctor  
 海をこえてナイロビから、デンマークからもゲストが。。  
 前例を超えた方々をお招きして、社会の原点を考えます。

①	4/14 (木)	「3歳までの命」といわれ41歳まで輝いて生きた えびちゃん 39歳で「若年認知症」と診断された丹ちゃんが47歳で書いた4刷りの本 夢を制度にした小山剛さんの「遺言」から考えます	国際医療福祉大学大学院 教授 大熊 由紀子
②	4/21 (木)	60年前につくった「幸せなら手をたたこ♪」 40年前広めようとした「患者の権利章典」 共通すること、立ちはだかった壁	早稲田大学名誉教授. 日本生命倫理学会元代表理事 木村 利人 先生
③	4/28 (木)	厚労省健康局長として子宮頸癌ワクチン勧奨に待ったをかけたわけ 千葉県病院局長として医療事故の検証に踏み切ったわけ	日本医療安全調査機構専務理事 矢島鉄也先生
④	5/12 (木)	見える人は見え、見えない人は見えない	内閣府障害者政策委員会委員長 障害学会会長 石川准先生
⑤	5/19 (木)	ALS患者囑託殺人事件～2人の医師と亡くなった女性 一連の報道で読者に届けたかったメッセージ	京都新聞報道部部長代理 清原 稔也 先生
⑥	5/26 (木)	一般紙が書けなかったこと書けなかったこと 経済誌が 連載「精神医療を問う」で明るみに出した現実	東洋経済新報社 調査報道部長 風間直樹先生
⑦	6/2 (木)	障害の重いケニアの子どもたちが必要な医療や教育を受けられるように 差別や偏見から解放されるように	「シロアムの園」の園長・医師 公文 和子 先生
⑧	6/9 (木)	100万部を超えた『病院で死ぬということ』から30年 変わったこと変わらなかったこと、そしてこれからのこと	認定NPO法人コミュニティーケアリング理事長 山崎 章郎 先生
⑨	6/16 (木)	「前例を超える・変える」 ～海外と日本を比較して～	国際医療福祉大学大学院 教授 大熊 由紀子
⑩	6/23 (木)	重い障害や病気のある子どもたちが友だちと楽しく遊び 子どもと家族が「普通」に暮らすことができる社会を目指して	ひばりクリニック院長 NPO法人うりずん代表 高橋昭彦先生
⑪	6/30 (木)	コロナが明るみに出した「精神科病院」の実態 「外国人技能実習生」問題に共通する日本社会の構造	NHK 制作局 ETV特集班ディレクター 青山 浩平先生
⑫	7/7 (木)	北欧型福祉を半世紀体験して知った税金が戻ってくる国の秘密 幼いときからの教育？選挙の仕組み？	デンマーク社会研究協会理事長 片岡豊先生
⑬	7/14 (木)	“恍惚の人”的認知症観をこえて 認知症を受け入れる文化、そして、暮らしづくり	島根大学臨床教授 エスポアール出雲クリニック院長 高橋幸男先生
⑭	7/21 (木)	科学史と科学哲学からみる 医学・医療・福祉	東京大学・国際基督教大学名誉教授 村上陽一郎先生
⑮	7/28 (木)	ゲスト講師から学んだこと・実行にうつしたこと	国際医療福祉大学大学院 教授 大熊 由紀子

